

議会だより おふせ

No. 93
2018.7.20
発行 長野県小布施町議会



みんなで栗が丘小学校運動会に参加しました。
来年は新1年生でガンバります。
見守って下さい！

■ 6月会議・条例改正・補正予算・請願	P 2
■ 4月会議・新条例制定・指定管理者他 5月会議・補正予算	P 3
■ 議会視察報告	P 4
■ 看護小規模多機能型居宅介護施設開設 6月会議一般質問目次	P 5
■ 議員一般質問(13名)	P 6～18
■ 議会日誌・研修会	P 19
■ 自治会長傍聴記及び懇談会	P 20

自治会長の皆さんと懇談会

懇談会は、各自治会長との情報共有、議会に対するご意見や町政発展につながる提案など自由な意見交換を行う場として毎年議会一般質問傍聴後に実施しています。
(6月7日)



議会傍聴の感想

自治会連合会長

荒井 茂生

六月七日に、自治会連合会として、六月議会を傍聴させていただきました。自治会役員として、非常に身近な問題点を取り上げておりましたので、どの様な切り口で質問をされるのか、とても興味をもって、傍聴席につきました。私が驚いたのは、13名の議員さんの質問事項が、それぞれ異なった分野であり、類似した項目が一つも無かったという事です。それだけ、色々な分野に目を配り、今この町が抱える問題点を詳細に取り上げている事に感心致しました。

各自治会長が抱える問題点

当日、自治会長の皆さんは議会本会議（一般質問）を傍聴した後に実施しました。

懇談会は27自治会長と議員の自己紹介の後、各自治会の抱える課題・問題点をお出した

だき情報共有をしました。

主なご意見・要望・提言は、

- ①除雪機の入れない通学路の対処を。
- ②自治会役員、消防団員のなり手不足の対応は。
- ③高齢化に伴う自治会役員が負担にならない仕組みは出来ないか。
- ④ゴミ収集車が入ってこれない道路、拡幅の対策を。
- ⑤少子高齢化による一人住まいの相談相手を自治会で。
- ⑥自治会に永く住み続けられる組織づくりを今年から。
- ⑦休耕地の対策や取り組みは喫緊では。
- ⑧小規模自治会は役員が2順・3順目になっている。
- ⑨火災の反省から消防マニュアルの作成を（消防団・女性防災クラブ・自治会他）
- ⑩有害鳥獣対策を自治会を上げて取り組んでいるので支援を。
- ⑪ゲリラ豪雨対策として、調整池等の設置を。
- ⑫議会の傍聴は初めてだが、有意義だった。他にも貴重なご意見がたくさん出ました。議会が対応する事項、行政が実施すべき事項などを精査し、町政の発展に活かしてまいります。



編集後記

平年より、二十一日早く梅雨が明けましたが、農作物への影響はいかがですか。
5月16日から18日の視察研修の報告や、六月会議の一般質問の報告を、内容豊かに掲載しました。一般質問を自治会長さん達に傍聴していただき、議員との懇談会そして交流会も開催し大変盛り上がりました。私たち議員も勉強になりました。ぜひ町民の皆さんも議場へお出掛けいただきたいと、議員一同お待ちしております。

発行責任者		議長 関 悦子
議会広報常任委員会		
委員長	福島 浩洋	
副委員長	小西 和実	
委員	富岡 信男	
〃	小淵 晃	
〃	渡辺 建次	
〃	小林 正子	
〃	関 悦子	

新条例の制定と指定管理者の指定

4月会議

1. 小布施町看護小規模多機能型居宅介護施設の設置及び管理に関する条例
施設の管理を、指定管理者に行わせることができる規定などを定めた条例
2. 指定管理者について指定を行う
 - 指定管理者；特定非営利活動法人「パウル会」
 - 指定の期間；平成30年6月1日から平成40年3月31日まで
3. 〔専決処分の報告〕（議会の指定事項）
条例改正6件の内の主なもの
 - 小布施町健康保険条例の一部改正
 - ・課税限度額の引き上げ
医療給付費分（基礎課税額）54万円→58万円
（合計限度額 89万円→93万円）
 - ・低所得者の負担軽減措置の拡大
軽減判定所得の算定において被保険者等の数に乗ずる額の引き上げ
5割軽減 27万円→27.5万円
2割軽減 49万円→50万円

一般会計補正予算4,740万円を可決 総額44億円82,427千円としました。

5月会議

○主な審議内容

- | | |
|---|--|
| 1. 保育園費 390千円 <ul style="list-style-type: none">・保育士募集に関する経費・チラシ20,000部印刷代（52千円）・新聞折込手数料（122千円）・求人広告料（216千円） | 4. 公共下水道費 16,350千円 <ul style="list-style-type: none">・下水道事業特別会計繰出金 |
| 2. 橋梁維持管理費 4,719千円 <ul style="list-style-type: none">・町内43橋梁修繕計画委託料 | 5. 公園費 20,428千円 <ul style="list-style-type: none">・福原地区街区公園遊具更新（2,294千円）・総合公園遊具及び噴水広場長寿命化（18,134千円） |
| 3. 河川公園管理費 5,000千円 <ul style="list-style-type: none">・千曲川ふれあい公園木橋更新 | 6. 高井鴻山記念館管理費 540千円 <ul style="list-style-type: none">・幟の広場、駐車場路面修理 |

4,118万円の補正予算を可決

6月会議

6月4日から15日までの12日間の日程で6月会議を開催し、条例改正2件、一般会計ほか1件の補正予算を審議し、それぞれ原案のとおり可決しました。
また、請願2件を採択し意見書を国会、関係行政庁に送付しました。

条例改正2件

- 小布施町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
少人数の子供を保育する地域型保育事業（家庭的保育事業）の設備や運営に関する基準については、厚生労働省令で定められています。今回省令が改正されたことによる改正を行うもので、町が認める外部事業者からの食事の搬入を可能にする等の改正です。
- 小布施町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
放課後児童支援員の基礎資格を緩和する等の改正です。

一般会計補正予算 主な内容

1. 財産管理費 役場庁舎3階トイレの洋式化工事、職員玄関ドア修繕等 5,450千円
 2. 地域づくり事業費 コミュニティ事業補助金 山王島、北岡神楽補助、上松川コミュニティ公園街灯修繕 4,431千円
 3. 商工振興費 商店街等活性化事業費 経営健全化資金保証料補給金 2,600千円
 4. 観光費 町営松村駐車場舗装修繕工事 16,838千円
 5. 道路新設改良費 2路線 2,970千円
 6. 橋梁維持費 暗渠修繕4か所 2,620千円
 7. 文化財保護費 福原三十三観音堂屋根修繕補助 1,000千円
 8. 体育施設費 町営テニスコート人工芝修繕 929千円
- 合計41,180千円の補正で、補正後の総額は45億2,360万7千円となりました。
国民健康保険特別会計の補正もあり、電算事務委託料332千円を補正しました。

請願2件

- 請願第1号 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書
＜請願者＞連合長野降水地域協議会須高地区連合会 会長 荻原公和ほか1名
- 請願第2号 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書
＜請願者＞連合長野降水地域協議会須高地区連合会 会長 荻原公和ほか1名
請願は、本会議において全員賛成で採択し、意見書を衆・参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣へ議長名で送付しました。

議会視察報告

平成30年5月16日から18日

1 京丹後市

・面積…約501km²
・人口…53、367人（H29、10/1）
・議員数…22人
・人口密度…106人／km²

○議会における常任委員会は、総務・文教厚生・産業建設・予算決算の4委員会構成されている。議会にタブレット導入等ICT化調査検討・議会活性化の3委員会が平成29年29年に設置された。○議会だよりの広報委員会とは、副議長が委員長兼務とし総勢10人の議員で企画から校正まで、行っています。○読んでもらえる工夫として表紙の写真を市民の皆さんから募集しています。また、プライバシーの問題も委員会で更に確認をしています。

2 綾部市

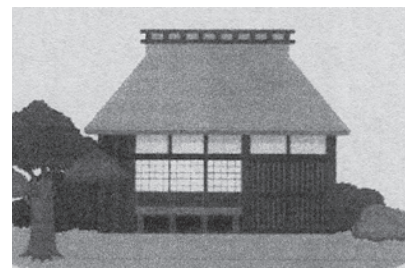
・面積…約347km²
・人口…33、808人（H30/4推計）
・議員数…18人
・人口密度…95人／km²

○市の「定住促進施策」として地元の宅建業者と連携し、定住促進相談として市役所内にワンストップ窓口を設けている。○市内には一部上場企業の本社が2社（グンゼ、日東精工）もあり「人財」教育を公開している、また大企業（京セラ）の研究所も



読んでもらえる「議会だより」の編集発表

有り、市にかなりの貢献をしているとの事。○定住促進の工夫として新築を含めた12地区内に空き家を改修したモデル定住促進支援住宅を確保し、現状としては全国第3位の実績を挙げているが、これは市内の宅建業者との連携が成功したということである。しかし今後も他市町村の競争も有り、油断できない。



空き家活用定住促進の工夫

3 京都大学防災研究所

宇治市内に広大な敷地を持つ京都大学宇治キャンパスに防災研究

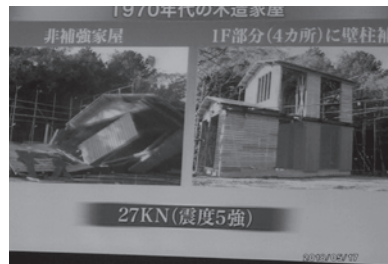
所があり、世界中にネットワークで結ばれており、日本も全国各地の観測装置や観測所がネットワークで結ばれています。○地震の発生メカニズムやエネルギー、地震動などについて詳しく説明をいただいた。

○阪神淡路・東日本・熊本の巨大地震の検証や被害、各地で発生している山の崩壊、河川の氾濫による土石流の状況をビデオで拝見。また、1847年5月（弘化4年）に発生した善光寺巨大地震の検証が詳しくされており大変興味深く拝聴した。

善光寺のすぐ近くに住む我々小布施町の住人としては特に関心を持ちました。

○木造住宅において倒壊防止の研究発表が大学と共同研究し各地で実績がある大阪府木材連合会の担当者から、

「壁柱構造」の重要性について実験ビデオを交えての説明を受けました。別棟の実験棟には地震発生装置の上を組み込まれた2階建て木造住宅の破壊状況再現作業を見学しました。



木造住宅、壁柱の耐震実験

4 宇治市

・議員数…28人
・人口…187、473人

○「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて、平成27年3月21日宇治市が認知症対応へ宣言を行った。高齢者人口は53、057人であり高齢化率は28・3%となっている



安心して介護サービスが受けられるまち

○宇治市第7次行政改革の取り組みについて、平成30年2月および5月において市政第7次行政改革の実施計画、プラン、大綱他、資料に基づいて財政難となることを想定して、いかにサービスをうまく縮小させるかという課題を伺いました。

る。認知症サポーター制度があり、登録者数は15、203人。市長宣言の中で4項目を約束ごととして掲げた。平成13年度から予防教室を開始し本格的に取り組み、京都府のモデル事業に指定された。その後、毎年事業の取り組み目標を設定して精力的に取り組んできました。

いよいよ開設

看護小規模多機能型居宅介護施設

24時間365日、対応複合型介護施設が新生病院敷地内に平成30年6月4日から介護サービスの運営を始めた。6月2日に町長・議会議長他町関係者・病院長他病院関係者・他市町村からも大勢の出席をいただき、竣工式と内覧会が行われ、早速家族の事で相談されていた方もおり施設や装備も好評でした。町内登録者（現在29人）を優先とし訪問介護サービス・デイサービス・夜間宿泊サービスを行うほか、様々な悩みご



「サービス万全態勢」介護スタッフの皆さん！



との相談に対応し施設1階部分の指定管理者を、「NPO法人、パウル会」に、平成40年3月31日の10年間の契約としました。1階施設の名称は「さくらの園」。通いのデイサービス定員を18人、宿泊サービス定員を6人から9人とし、料金は、それぞれ国の基準範囲以内で定める事となっていますが、町長の承認が必要となります。2階部分は、新生病院系列のパウル会が、認知症患者対応の施設を併設し、須高地域の介護サービスや在宅医療のサービス拠点として運営します。建設費は約3億円、内約1億円が小布施町負担分としています。

6月会議 一般質問

目次

小西 和実	14
(1)定住促進施策の現状の成果は	
渡辺 建次	15
(1)医療費・介護費の増大抑制のためには	
(2)スタディクーポンの配布で経済格差による学力格差の解消を	
(3)北信濃花街道の理念は～線から点へ～	
富岡 信男	16
(1)犯罪から子どもを守るための対策の強化を	
山岸 裕始	17
(1)平成23年度から続けた地域医療体制に対する成果の総括を	
関谷 明生	18
(1)小学校の英語教科化への取り組みは	
(2)民生児童委員への理解と活動支援は	
福島 浩洋	19
(1)1級河川松川の洪水対策は万全か	
小林 正子	20
(1)だれもが住みなれた地域で住み続けられるまちづくりを	
(2)サル被害への鳥獣被害対策について	
小林 茂	8
(1)小布施町の震度は全域に当てはまるのか	
(2)下松川橋北側の取付け道路の安全対策は	
大島 孝司	9
(1)財政改革の推進を	
小林 一広	10
(1)各公会堂に非常用のソーラー電灯を	
(2)子供の骨密度指導の現状は	
川上 健一	11
(1)都駅周辺周辺の整備と合わせた周辺の活性化策は	
(2)認定こども園栗が丘幼稚園南側入り口道路の拡幅は	
小淵 晃	12
(1)高齢者施策の更なる充実を	
(2)名菊「巴錦」を「町の花」に制定し種の保存に助力を	
中村 雅代	13
(1)消防行政の充実強化を	



小林 茂議員

下松川橋の取付け道路改良を

畔上建設水道課長

安全確保のためソフト対策に努めます

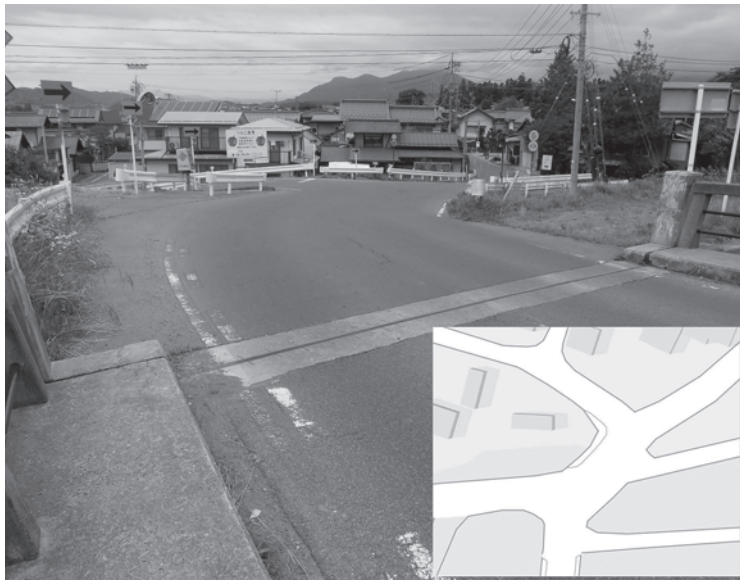
Q

下松川橋の小布施側の取付け道路は、複雑な交差点で危険性が高く不具合箇所も多くあります。改修に向けた将来構想、あるいは中長期計画を作成する必要があると思いますが。

A

下松川橋は昭和46年にしゅん工し現在は町の管理下にあります。交通安全と利便性向上に向けた取付け道路改修には、用地も含め大掛かりな計画となります。看板

の設置、砂ポストの適正な管理、凍結防止剤散布等安全対策に万全を期していきます。



下松川橋の取付け部は複雑な構造のため、安全対策が急務

Q

地震計の値は
全域に当てはまるのか
田中総務課長
地域によって揺れが違います

5月25日県北部を震源とする地震が発生し、栄村で震度5強が記録されましたが、小布施町は震度2と発表されています。役場に設置されている地震計の値は小布施町の代表値と考えてよいのか。過去の記録等から地域内の揺れによる違いはないのか。

A

役場の地震計は、平成8年に設置され、県を通じ氣象庁に報告されています。

町の中心部がある扇状地部分は松川の石が多くかたい地質、北部に広がる延徳田んぼや西側の千曲川に沿った地域は、千曲川の上流



小布施町の震度計はここに!!

の粘土質の柔らかい沖積層からなっています。昭和33年以降の地震による家屋の被害は平成19年に発生した中越沖地震があるのみで、町内18か所で屋根のぐし、外壁、床の崩落が報告されています。被災地域は、矢島、押羽、羽場、北岡、山王島、大島。これは一般的にいわれるように柔らかい地層の沖積地が揺れることを示していると考えられます。これらの地域にお住まいの方に、より高い防災意識をお持ちいただくことが有効であると考えます。



大島孝司議員

財政改革の推進を

中條総務課長補佐

「仮称・行政改革基本方針」を
策定し改革を進めていきます

Q

小布施町の今後の財政状況を考えて、歳入については、生産年齢人口の減少に伴う町民税の減少、固定資産税の減少等、一般財源総額の大幅な増加は期待できません。歳出については、高齢化に伴う保険医療などの扶助費や公共施設の管理運営などに必要な物件費が増加しており、財政状況の悪化が見込まれる状況にあります。このような財政



小布施町公式ホームページで「小布施町公共施設等総合管理計画」を見ることができます

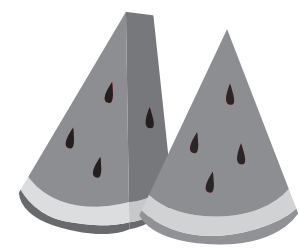
状況のなか、持続可能な小布施町とするためには、計画的な財政健全化を進める取組が必要と考えます。全ての事業の必要性、有効性、効率性などについて、検証・分析は充分に行っているか。最小の経費で最大の効果を上げられるよう事業の見直しが必要ではないか。既存事業の廃止や縮小は充分に検討しているか。今後は身を切る改革も必要ではないか。補助金について、借地料について、定期的に見直しは行っているか。見直しの状況はどうか。新たな歳入創出と財源確保については、どのように検討しているか。「公共施設等総合管理計画」では、公共施設とインフラを全て更新する場合40年間で510億円が必要となり、1年当たり12億7千万円が必要となるため、すべての施設を現状のまま維持するのではなく、施設の統合、廃止、規模の適正化、民営化、長寿命化などを検

討しコストの削減に取り組むとありますが、計画が策定され1年3カ月が経過した現在の実施状況はどうか。スピード感のある取組がされているか。「個別実施計画」の作成状況はどうか。以上の事を踏まえ、町の行政改革を「見える化」する必要があると考えます。計画的な財政健全化を進めるために、「仮称・小布施町財政健全化推進プラン」「仮称・小布施町行政財政改革大綱」等を作成すべきと考えますが、見解を問います。

A

事業の廃止、縮小については、事業の連携、生産性の向上という視点から見直しを行っていきます。本年度「行政改革推進委員会」を設置して議論を重ね検討していきます。補助金については、公共と民間、町と住民の役割分担を踏まえ、その必要性、公益性、緊急性などについて検証し、見直しを行っていきます。借地料については「行政改革推進委

員会」に諮り、統一的な基準を設けていきます。新たな歳入創出と財源確保については、税負担の公平を期するとともに、自主財源の確保のため、より一層課税客体の把握に努めます。指定管理制度を進め、稼ぐことができる公共施設を増やし、新たな歳入創出を図ります。「公共施設等総合管理計画」については、施設管理の状況調査を各担当課に依頼しているところであり、6月下旬から公共施設の劣化診断を始めます。施設管理の状況調査結果と劣化診断結果をもとに「公共施設等管理検討委員会」のなかで、施設自体の必要性や複合化、集約化、用途変更などについて検討していきます。「仮称・行政改革基本方針」を策定し、町民の皆さんの理解と協力をいただき、この改革をより実効性の高いものにしていきたいと考えています。





小林一広議員

各公会堂に非常用のソーラー電灯を

中條総務課長補佐

災害現場の情報収集し
電灯の必要性を検証します

Q 27自治会の公会堂の耐震補強工事がすべて完了し、第一避難所としての存在は小布施町住民にとって一定の安心・安全を確保されていることで、非常に素晴らしい事業でありました。しかし災害は、いつ起こるか分かりません。停電を伴う災害が起きた時、各公会堂にソーラー電灯

が必要ではないでしょうか。

A 熊本地震では懐中電灯、国、県、ライオンズなどからの援助照明で対応しています。設置が必要になってくるのは第二避難所です。新会社として設立される「ながの電力」と相談しています。

Q 6月3日に第40回町防災訓練が行われたが、夜の訓練も必要ではないでしょうか。過去に検討しましたが、各自自治会長との調整が難しく実施に至っていません。

A 熊本地震では懐中電灯、国、県、ライオンズなどからの援助照明で対応しています。設置が必要になってくるのは第二避難所です。新会社として設立される「ながの電力」と相談しています。

Q 福岡県古賀市の小野小学校では5年前より子どもたちの骨密度検査を行っています。小布施町は行っていますか。

A 若年者の値が不正確であるとの評価があるため行っていないです。



ソーラ外灯が実用化されている農道

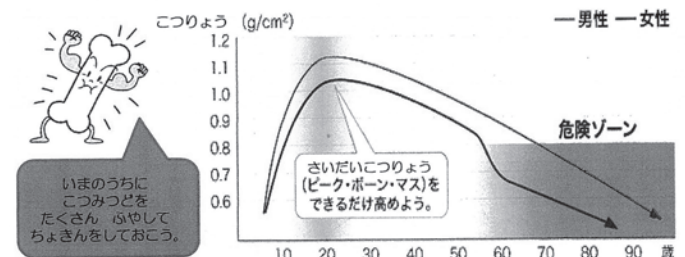
Q 福岡女学院看護大学の松尾教授は、20年前より子どもたちの骨の変化に関心を持ち、調査を進め現在は、小学生の骨密度検査のデータが5年分になります。骨密度は20歳ごろにピークを迎えることから、子どもの骨密度に関する認識と取り組み、指導の現状は。

A 骨づくりににはバランスの取れた食生活と運動が不可欠。幼保小中一貫教育の中で「体づくり」を始めており保護者と話したり、指導、働きかけを行っています。

Q 親の指導でなく、検査を取り入れてから子どもたち自身で健康や食事に対して考えるようになりました。小布施町でも取り入れていかがでしょうか。

A 当町は、小学校1校、中学校1校の環境には、測定器の確保の課題があるので十分調査し、検討をしていきます。

【こつりようは 20さいくらいを すぎると すこしずつ へってくる】



川上健一議員

都住駅周辺の整備と活性化策は

市村町長

駅を中心とした複合的な仕組みづくりの
中で提案の事業も実施できれば

Q 3月議会で都住駅周辺の整備推進について一般質問がありました。

私も駅周辺の整備を進めて欲しいと考えていますし、併せて、駅周辺の活性化と市街化を若干進めべきではないかと考えております。

維持されない農地も若干見受けられますし、農業を維持することが困難になってきているお宅もあります。

そうした農地を家庭菜園として生かしていけないか。そこで栽培された野菜などを販売できる、小さな直売所等設置してはどうか。

また中子塚・矢島・清水自治会においては人口減少という問題を抱えており、自治会としてある程度の人口を維持する必要があるのではと考えます。もちろん自治会の皆さんの考えが一番大事なところではあります。若干の宅地造成等の人口増加策は必要ではないかと考えます。

都住駅周辺整備と合わせ駅周辺の活性化及び宅地造成を考えると、
①都住駅周辺整備と合わせ都住地区活性化策として家庭菜園は、また直売所は。

②人口減対策として中子塚・矢島・清水地区での宅地造成の考え

Q 幼稚園・保育園へのお子さんの送迎はほとんどの保

認定こども園栗ガ丘幼稚園
南側入り口道路の拡幅は
畔上建設水道課長
地域の皆さんと調整します

A ①都住駅を中心とした複合的な仕組みを作り、その中でご提案の事業も実施していくことができれば有効な活性化策になるのではないかと考えております。

②現状、農業振興地域内農地での宅地造成を行うことはできませんが、農地をどのように保全するか、どのような新たな活用の仕方に変えていくかを地域の皆さんで考えていただくのが重要です。地域の強い意向があれば、農村地域の新しいまちづくりを個別の案件として実現できるよう努力してまいります。

護者の方は車での送迎となっております。そんな中、幼稚園の南側入り口道路は、道幅が狭く、対向車がある場合はどちらかが先を譲り、どちらかが待っていない限りはなりません。

この南側道路の非常に危険な点は、南側から入ろうとした車が、北側から進んできた車に気が付き、急に停車した時です。後続の車が急停車しあわやという場面を何度か目撃しております。

①南側道路の狭さについて検討されたことはあるのか。

②早急に南側入り口道路の拡幅を進めるべきと考えるが町の考えは。

A ①栗ガ丘幼稚園を建設するに際して、送迎時の安全対策を図るため、道路の拡幅検討をしたが、拡幅することができず、現在に至っています。

②道路の拡幅は、常時安全で安心して快適に利用していただくために必要と考えていますが、拡幅するためには、地域の方々のご理解とご協力が欠かせません。地域の方々と安全面での対応も含め、調整をしていきます。



整備が求められる都住駅周辺



小淵 晃議員

高齢者施策の更なる充実を

林健康福祉課長

高齢者の皆さんの健康のため
取組みを進めます

Q 少子高齢化が急速に進む我が国です。因みに小布施町の高齢化率（65歳以上）は33%で、町民の3人に1人が高齢者の皆さんです。

特に75歳以上の後期高齢者の皆さんは、第2次世界大戦の戦後の荒廃の中、衣食住に事欠き、社会

人になられても敗戦後の劣悪な環境の中で働き、日本経済の高度成長を支え、今日の豊かな日本を築かれました。

よって、高齢者となられた今、心豊かで有意義な老後をお過ごしただきたく提案をします。

①小布施の街中には美術館、オープンガーデン、まちとしょテラソがあり交流ができる町です。折角この町に住んでいるのでご活用いただくために、街中にベンチの増設、美術館等の招待券の進呈など、多額の出費をせずに出来る高齢者施策が沢山ありますので取組みを望みます。

②老人福祉センター桃源荘は、畳の大広間を洋室にし、トイレは改修等をして高齢者が利用しやすい施設にすべきではないでしょうか。

A ①ベンチの設置は高齢者の皆さんが、街中に出て町内外の方との交流や、買い物の休

息のためにも必要と考えます。また美術館等の招待券の発行は、高齢者が街中へ出かけ小布施町の恵を享受できる仕掛けと考えています。

②桃源荘の大広間の洋室化、全トイレの改修などは利用者の希望に沿って進めていきます。

名菊「巴錦」を「町の花」に
制定し、種の保存に助力を
三輪教育次長
保存会の皆さんと
相談して進めます

Q 名菊「巴錦」は花卉の内側は鮮やかな朱色で外側は黄金色で気品あふれる重厚な美しい菊です。

「巴錦」は江戸・明治・大正・昭和・平成と、世代を超えて連綿として小布施町で栽培され、現在は「小布施巴錦保存会」によって普及・保存がされています。

以来、「北斎巴錦」の商標登録、「苗のウイルスフリー化」を実施され、毎年約900本の挿し芽の培養、小学6年生への菊鉢栽培の指導など普及活動を熱心に進められています。

①小布施町では昭和56年に「町の木・栗」「町の花・りんご」を制定されました。「巴錦」を「町の花」に加えることの検討をいただきたい。

②巴錦保存会の会員にも高齢化が進んでいますので、「種の保存」を町全体の課題として捉え、助力をしていく必要があると考えます。

A ①「巴錦」は小布施文化の薫り高い象徴的な花として普及をしてきた。町民の皆さんの意見を聞き前向きに検討します。②精力的に活動している保存会に敬意を表し、熱意ある保存活動が今後も継続できるよう、保存会の皆さんと相談しながら、どのような支援が可能か、人的支援や活動のPRなども含めて、さまざまな方面から考えていきます。



消防行政の充実強化を

久保田副町長

救急・消防事案・自然災害バランス良く
対応できるように整備していきます

Q ①須高地区における救急体制の出動エリアの変更や救急搬送の人員配置など出動基準、出動件数は、

②高度救急出動体制の充実に求められており、高齢社会に向けて救急搬送回数の増大が予想されますが、現状で対応できるのでしょうか。

肺停止の方など生命に危険が迫っている「救急重症事案」が発生した際には、平成29年度試行を経て30年4月から須坂市北部へも出動します。隊員3名（内救命士1名2名）搭乗。平成29年度中の件数は須高管内2、988件で内小布施444件です。

救急体制の充実には、人員の増や施設の整備が必要で経費の増が課題です。女性隊員の必要性も高まっており、今後3市町村での検討を考えていきます。

Q ②住民への火災注意喚起について

3月、須高での下草火災及び住宅火災が6日間連続して発生し3人が死亡。小布施町でも死亡火災が2件相次ぎ哀惜の念に堪えません。このほか、清水沖や大島地籍でも下草火災が発生しました。

今後このような火災を起こさないためには、消防体制や住民への注意喚起など、どのように強化して行ったらよいか考えを伺います。

A たき火による火災が発生する時期を迎える3月1日から7日の「春季全国火災予防運動」中に、車による広報や同報無線による注意の呼びかけなどを行いました。

死者が発生した直後も臨時放送

での呼びかけ、消防指令車による巡回を行い警鐘打鳴によって火の取り扱いの注意を実施いたしました。

今年度は消防団員と、女性防災クラブの皆さんが各ご家庭を訪問し住宅の耐震化促進や住宅用火災警報器の設置のお願いに当たる予定で、その際も火の取り扱いには十分注意し、火災が発生させないよう呼びかけをしてまいります。



私達が大切な役割を果たします

A 原則として町内出勤だが、須坂市の要望を受けて、心



救命率の向上を目指して頑張ってます



小西和実議員

定住促進施策の現状の成果は

西原企画政策課長

十分ではないが、若い世帯の
移住定住は増えてきています

Q 本年小布施町が4月30日
時点で公表している年齢別
人口推計において、小布施町の人
口は11,004人であり、高齢
化率は34%です。一方で0歳から
14歳までの年少人口割合は13%で
あり、およそ1,426人であり
一歳当たりの平均人数はおおよそ95
人平均で100人を割り込んでい

ます。一方で高齢者は3,678
人で年少人口のおおよそ2.6倍で
あり、数字の上でも少子高齢化が
顕著に見られます。

現在すでに高齢化率が34%と
なり3人に1人以上が高齢者とい
う状況で、以前の資料ではこの
ままでは10年程度で高齢化率が
40%を超えて超高齢化が進んで
いくという試算もありました。

この高齢化の影響は、生産人口
の減少、農業従事者の減少、耕作
放棄地の増加、地域社会の担い手
の不足などさまざまな問題を結
果として招きます。

長野県の調査では、子育て家庭
のうち、低所得で公共料金が支払
えなかったり、子どもにレジャー
体験をさせられなかったりする
「生活困難家庭」が24%に上ると
いう驚くべき調査結果が出てい
ました。

調査した子育て家庭のうち
24%、つまり4世帯のうち1世

帯は公共料金が支払えなかったり
子供にレジャー体験をさせられな
かったりするという調査結果です。
人口全体が維持されることも重
要ですが、小布施の未来を担って
いく年少人口を維持していくこと
も大切であり、また出生率を最低
でも20以上にしなければ、人口は
増加せずに減少してしまいます。

定住促進を進めている小布施町
では、現在、定住コーディネーター
を設置するなど定住の促進にとて
も力を入れています。その成果も
あるのか、はつきりと相関関係が
あるのかは見えませんが、定住者
がある程度数字上で確認はできて
いるようです。そして、小布施を
好きになってくださった多様な世
代の皆さんにぜひ小布施町に住ん
で頂きたいと思っています。

しかし、小布施町が行政として
取り組むべき定住促進施策では、
より具体的なターゲットを成果指
標として定住促進に取り組むべき

であると思われます。30代以下の
子育て世帯の年間定住件数が10件、
小布施町の出生率を2.0以上と
するなど、よりハードルが高く目
指す価値のある高い成果指標を掲
げるべきではないでしょうか。

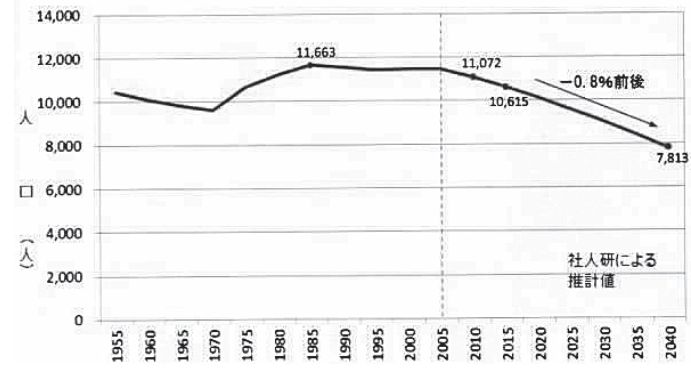
現在の定住促進施策の目的およ
び成果指標と、現在どのような成
果を上げているか、具体的に明示
してください。

A 町の移住や定住促進に係
る施策は、小布施町人口ピ
ジョン、小布施町総合戦略に方向
性、目標を掲げ、人口の将来展望
の考え方には「小布施中学校の一
学年の人数が常に100人を維持
することを目指す」、また、人口の
年齢構成を維持することを目指
す」としています。

全部署において少子化対策や人
口維持に向けたあらゆる施策を連
携し、子育て支援や教育環境、福
祉施策の充実なども含めて、小布
施の魅力を伝えることが小布施町
に住んでいただけることにつなが
ると考えています。



図表1 総人口の推移と将来推計



渡辺建次議員

医療費・介護費の増大抑制のためには

林健康福祉課長

中島教育長

運動習慣化へ町民の動機づけを検討します
幼保小中一貫の体力づくりにも努めます

Q 平均寿命と健康寿命の
差を縮めるには、糖尿病や
高血圧症などの生活習慣病の予
防に努めることが大切であり、そ
のためには、「運動」・「食生活」・
「禁煙」・「健康診断の受診」がキー
ワードと言われています。町民の
平均寿命と健康寿命について伺
います。

平均寿命と健康寿命の
差を縮めるには、糖尿病や
高血圧症などの生活習慣病の予
防に努めることが大切であり、そ
のためには、「運動」・「食生活」・
「禁煙」・「健康診断の受診」がキー
ワードと言われています。町民の
平均寿命と健康寿命について伺
います。

A 平成27年度厚生労働省
調査による平均寿命は、男
81・7歳、女86・8歳です。一方、
健康寿命は、長野県衛生部が平成
27年4月に公表している数字が、
平成22年の調査で、男77・83歳、
女85・09歳となっています。

Q 運動習慣のない町民の
割合はどのくらいか。

A 平成28年度の特定健診
受診者の状況から、67%の
方々が運動習慣がないです。

Q 運動習慣化へのインセ
ンティブ（動機づけ）とし
て、「健康ポイント制度」や中野

市さんが始められる「ウォーキン
グバーチャルの旅」などの導入は
考えられないでしょうか。

A 運動習慣化へできるだけ
経費をかけない方向で検討
したい。

Q 要介護認定率の割合、認
定に至った原因、介護サー
ビス受給者の割合について伺いま
す。

A 平成30年3月末現在、65
歳以上の認定者の割合は
12・37%（453人）です。認定
に至った原因は、認知症、関節疾
患、脳血管疾患です。サービス受
給割合は、89・4%となっています。

Q 心身の機能が低下する
「フレイル」（虚弱）を、本
人も含めて家族などが早期に発見
するため、チェックリストを利用
できるようにしてはどうか。

A 昨年度から、「基本チェッ
クリスト」は、小布施独自
のものを国の様式に加えて利用し

ています。この配布等の方法につ
いては、多くの人に活用できるよ
う工夫をしていきたいと思ってい
ます。

Q 独居高齢者や高齢者夫婦
のみの世帯数と低栄養対策
としての食事指導は。

A 65歳以上の独居高齢者は
292世帯、高齢者夫婦の
世帯は約480世帯です。食事指
導については、地域包括支援セン
ターを中心に体制をとっています。

Q 高齢者の健康度は、学童
期からの運動も大きく影響
するといわれています。幼保小中
の運動状況について伺います。

A 幼保小中一貫教育の一つ
の柱でもある「体づくり」
を推進するため、「体幹トレーニ
ング」を継続習慣化しています。

Q 特に中学生女子の運動離
れが目立つとのこと。競争
性の低い、気軽に楽しめる「ゆる

部活」の創設はどうか。

A 小布施の場合、部活加入
率が高い（女子65・2%）
ので、当面は動向を注視したいと
思います。

スタディクーポンの配布で
経済格差による学力格差の解消を

中島教育長
慎重に考えたい

Q 町内小中学生の通塾状
況は。塾代の補助をしては。

A 小学生は100人（16・
2%）、中学生は109人
（33・4%）となっています。助
成には検討すべき点が多い。

「北信濃花街道」の理念は
―線から点へ―

畔上建設水道課長
管理方法の見直しに努めます

Q 国道403号延徳たんぼ沿い
の植樹帯の管理状況は。

A 開花期間が6月から9月
末ぐらいまでですが、管理
の徹底をします。



富岡信男議員

犯罪から子どもを守るための対策の強化を

三輪教育次長

地域の皆さんと連携し取り組みます

Q

新潟市で小学生の女の子が殺害され、JRの線路に遺棄されるという非常に残虐な事件が5月7日に起きました。この事件を受けて5月18日に国では関係閣僚会議を開き、菅官房長官は、「大変痛ましい事件で怒りを禁じ得ない、二度とこのような事件が発生しないよう関係省庁で情報を共有し、再発防止に活かしてほしい」と述べ、そのうえで警察、学校、

自治体などが協力して通学路の危険箇所を確認し、防犯カメラを設置するなど、犯罪が起きにくい環境を整備することや、不審者情報を共有して迅速なパトロールを実施すること、さらに防犯ブザーやスクールバスを活用する自治体への支援を強化するよう関係省庁に指示したとの報道がありました。過去においても、登下校の児童生徒が犠牲になった事件が多く起

きていることから、犯罪から子どもを守るための対策を立てるため、国では、犯罪対策閣僚会議を開催し、登下校時の安全確保のため重点的に推進する事項として、子ども緊急通報装置の整備、公民館等を活動拠点とするボランティア活動の支援、老人クラブにおける地域の見守り活動を通じた児童の安全確保に向けた取り組みの依頼等、数多くの項目を掲げています。

小布施町でも多くのボランティアの皆さんが子どもの見守りに協力をいただいています。町内でも過去に不審者による事件が発生し、都住駅に防犯カメラを設置した経過もあります。

小布施町は人口1万人の小さな町です。小さな町だからできる町民の皆さんに参加していただき、子どもへの声掛けなど、地域全体での見守り体制の整備が必要かと思っています。今後の取り組みについてお聞きます。



東町自治会有志の皆さんによる見守り活動。平成21年から小学校登校日には毎日活動していただいています

A

登下校時の安全確保のため小学校では、防犯ブザーの点検、帰宅時刻の明示、なるべく複数で歩く、「子どもを守る安心の家」に限らず何かあったら大人に助けを求めるなど、登下校中や歩行中に不審者に出会った時の対応について指導をしています。警察などから不審者情報があった時には、同報無線による緊急放送や携帯電話のメールを使い、保護者に情報を流して注意を促しています。地域の大勢の皆さんにご協力をいただき見守り活動をしていただいています。

新潟市の痛ましい事件の後、政府は関係閣僚会議を開き通学路の安全確認の徹底や不審者情報への迅速な対応を指示し、防犯教育の充実やスクールバスの活用など、学校や自治体への支援強化も要請しています。今後出される政府の再発防止策を踏まえ、町でも積極的に対策を立てていきます。

悲惨な事件を未然に防ぐため、警察や防犯協会の皆さん、見守り活動にかかわっていただいている地域の皆さんと連携し、迅速な情報共有ができる環境づくり、体制づくりを進めていきます。

地域医療体制整備に対する成果の総括を

久保田副町長

補助対象事業それぞれに必要な体制整備が整い、病気の早期発見、効果ある治療に繋がっている



山岸裕始議員

Q

小布施町では「より質の高い健診体制や救急医療など、適切な医療の提供が行える環境整備、医師・看護師不足対策など、町における医療体制の強化を図るため」町の中核的医療機関である新生病院に平成23年度

から平成28年度まで6年間、計1億3千万円の助成をしてきました。

平成29年9月13日開催の決算特別委員会第2分科会の中で、健康福祉課長から「平成23年から6年続けてきた事業でございますので、

を交付しました。

補助金対象事業は、救急医療体制の整備、病診連携の強化、健診体制の強化等。

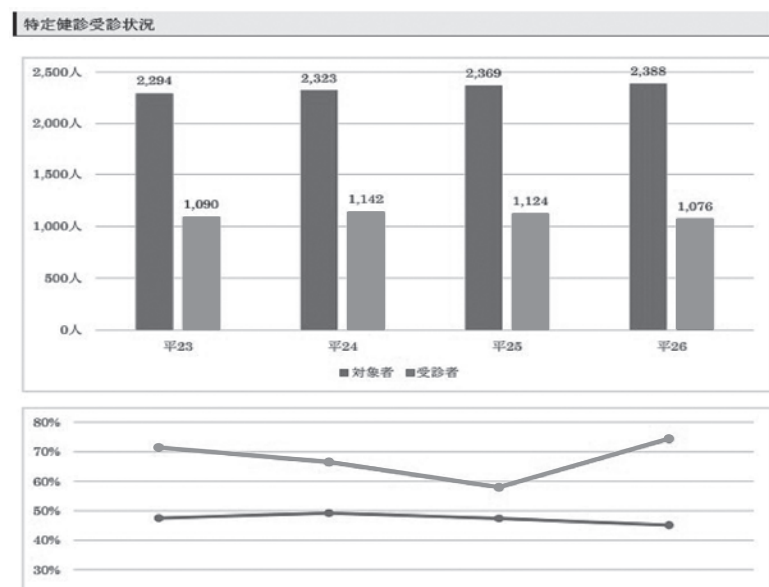
救急医療体制は、医師や看護師などの宿直に係わる人件費を補助し、すぐに治療が受けられる体制整備を支援できました。

なお、夜間、休日に救急外来を担当する非常勤医師を確保すること、常勤医師による在宅訪問・往診件数は、平成23年度の395件が29年度には、2、903件で大幅に増加しました。

病診連携は、PASC（画像保存通信システム）により新生病院を受診した人の詳細な画像診断結果をCDを媒介としかかりつけ医に円滑に提供することができるようになりました。

健診体制強化は、子宮がん検診実施体制の整備に要する人件費を対象にしました。

新生病院での子宮がん検診の受

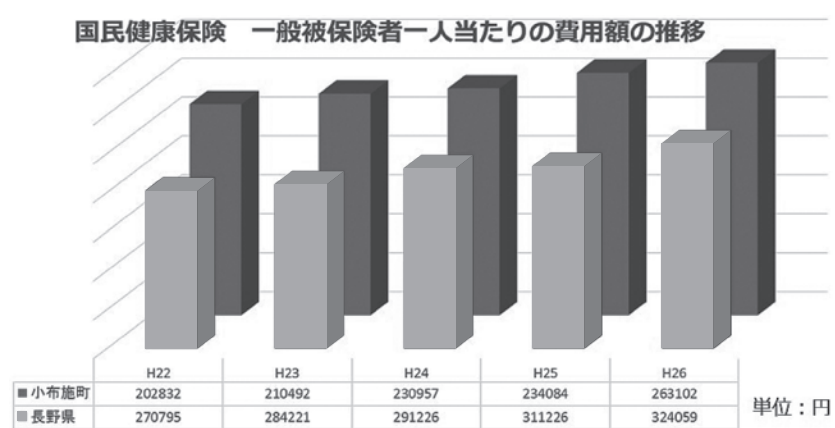


町の特定健診の受診率は高水準を誇る

A

平成23年度に医療体制を強化、町民の健康増進と福祉の向上のため、町医療の中核的役割を担う新生病院の運営経費に補助することとし、6年間。新生病院に補助金

町民の健康増進と福祉の向上のため、町医療の中核的役割を担う新生病院の運営経費に補助することとし、6年間。新生病院に補助金



5年間の医療費の増加が長野県19%に対して小布施町は30%と大きな疾病が増えている



関谷明生議員

小学生の英語授業本格実施

2年前倒しの真意は

市村町長

英語授業の早期定着と児童の学力向上を図ります

Q

文部科学省の次期学習指導要領では2020年度から小学校教育に英語が導入されます。本町では基礎学力の定着と学力向上の充実を図るため、小学生の英語授業を2年前倒して本年から本格実施します。その理由を伺います。

A

全国に導入される制度であり早期定着を図ること。有能な英語教育推進員が存在している現在の優位性を生かした英語

Q

授業の確立や児童の学力向上に生かすこと。英語授業ができるクラス担任を養成するということです。授業は誰が受け持つのでしょうか。英語教科書が用意され、小学5・6年生は正式な教科「英語科」となり成績がつくのでしょうか。授業時間は増えるのでしょうか

A

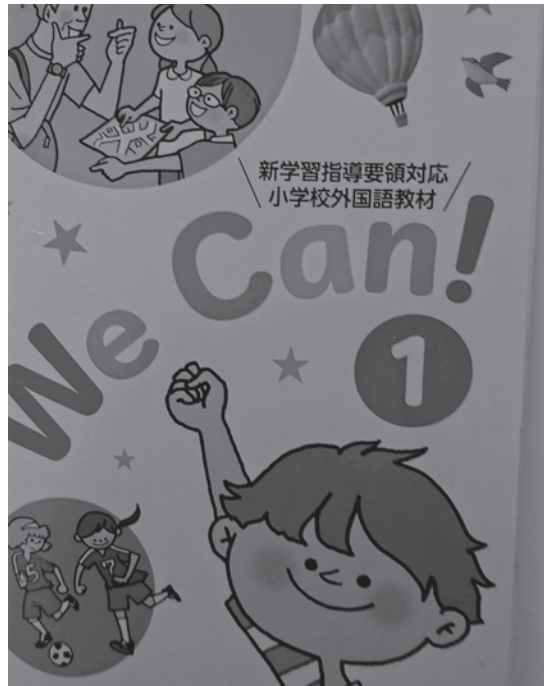
クラス担任が英語の授業を行うことは大変難しく、現時点では英語教育推進員とクラス担任が二人で

Q

間で変わらないが5・6年生は年70時間になり水曜日の6時間目に一マス追加して対応しています。外国語指導助手(ALT)は、幼保小に配置されていますが、現在空席となっています。国、県からの支援はあるのでしょうか。

A

国や県からの支援はなく、町単独の財源で雇用していますが、引き続き後任者の確保に努めていきます。



栗ガ丘小学校5年生英語教科書

Q

民生児童委員は厚生労働大臣から委嘱され非常勤の特別職の地方公務員です。給与の支給はなくボランティアとして活動しています。任期は3年で県知

民生児童委員の活動内容は

永井健康福祉課長補佐

平成29年度訪問件数は90件増加



福島浩洋議員

1級河川、松川の洪水対策は万全か

田中総務課長

平成31年度に町民の皆さんへ浸水想定区域図の公表を予定しています

Q

松川の洪水、土石流、土砂崩壊のハザードマップの作成と町民の皆さんへの周知はいつ頃か。

A

法改正により1,000年に一度の浸水想定区域図を作成する事になり、千曲川は平成28年5月に公表、松川は平成31年度に公表の予定。ハザードマッ

Q

川底の改良や堤防の強化等の企画について町の考えと更に河川工学専門機関や国、県との企画対策のすり合わせは。

A

昭和39年度からの築堤や護岸整備にて計画高水に対応する改修は完了し平成12年度から河道内の偏流による破堤防止対策として低水護岸の整備や緊急性が低い箇所を除いた落差工事の整備を行い現在、強化の予定はありません。しかしながら、現在の施設では守り切れない洪水は必ず発生するとの考えに立ち、社会全体で備える「水防災意識社会」の再構築に向けた取り組みを進めています。松川においても「長野圏域大規模氾濫減災対策協議会」を設置し情報伝達等に関する事項、水防に関する事項等現状と課題、減災のための目標を概ね5年で実施する取り組みを行っています。

Q

松川上流部の砂防ダムの安全性は、高山村との連絡体制は万全か又、非常事態時の町民への素早い連絡周知は、日頃のシミュレーションはどの様に。

A

①高山村の砂防堰堤は平成25年度に点検、安全性に影響を及ぼす損傷や河川に影響を及ぼす、異常な堆砂は有りません。その後大きな出水時の後にも施設の点検をしましたが、異常はありませんでした。

②非常事態時の町民の皆さんへの連絡は主に同報無線、スマートホンや携帯電話へのメール配信で、特に松川の増水避難は、地域防災計画に記載(千曲川について作ったタイムライン)に準じ避難勧告等を行い水位の情報から避難準備、勧告、指示(命令)等を行います。

松川の土石流などは県が運用する「河川砂防情報ステーション」から提供される事前の気象情報から危険を察知し、高山村と情報を



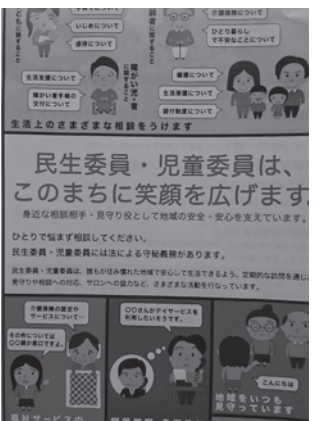
川底が間近に見える大豊橋



川底に巨石がゴロゴロ松川橋附近



土石流が心配な大豊橋



民生児童委員の理解を深めるチラシ

お年寄りや障害のある方、生活に不安がある方を見守り活動として訪問、関係機関につないだり、地域の行事や、地域の支え合い活動への参加など、様々な活動を行っていただいています。「相談支援件数」は平成28年度111件、平成29年度102件、「訪問件数」は、平成28年度に2,263件、平成29年度2,353件。相談支援件数は平成28年度に比べ9件減ですが、訪問件数は90件増加し、民生児童委員が自ら積極的に訪問活動を行い、町民の皆さんの悩みなどに寄り添っていたいている状況が伺えます。町でも専門家が対応しなければならぬ内容もあり、事案・ケースに応じて孤立しないよう支援してまいります。

共有し、連絡を取りながら町民の皆さんにお知らせします。



小林正子議員

高齢者・障がい者・子ども 孤立せずに安心して住み続けられる町に 地域の支えあいによる居場所づくりを努めます

林健康福祉課長

Q 高齢者の生活は高齢化率の数字以上に深刻。「お伝馬に出れない。迷惑かけて申し訳ない。回覧板も配り物もいらぬ。隣組を抜けさせてほしい」「足腰が弱くなつて迷惑かける。老人会やめさせてほしい」など。高齢者は迷惑をかけるのが一番の負担なのです。障がい者も同じです。このままだと、地域から孤立していきます。高齢者が孤立しない対策はどうか。両親を付きっきりで世話している方も孤立しやすい。対策はどうか。

A 健師の一番の仕事は訪問活動。見守りや健康面の相談は大切だが。保健師は事務処理に追われているのが実情です。高齢者の安否確認や子どもの見守りはどうか。

Q 登録されたご近所への緊急通報システム。子ども

Q 水上の住民の方が、在宅時に目視した一端を紹介します。「2・3月 群とはぐれサル。ゴミ場あさる。コブシ花芽、落ちカリン、S宅ネギ食べる。K宅庭木折る。屋根走る」「4月1、3、22、23、24、25日。女性威嚇。ゴミ場あさる。ネギ、大根、コブシ花芽食べ散らかす。野菜踏み荒らす」「5月12、14、20、21日。女性威嚇、いちご荒す。松川からも来る初めて。食べないのはピーマンだけ。瓦や樋も壊される」

A 町としての対策が必要です。JAの販売物鳥獣被害調査では平成29年度210万円内、サル10万円。実績はこれ以上。電柵設置地元負担もあるので、よく相談していきます。

Q ボランティアの電話安否確認「お元気コール」や一人暮らし交流会を実施。地域のお茶のみサロンを11地区で実施。今後は地域の支えあいによる居場所づくりへの支援が必要と考えます。そうした事業に出かけるのも大変という状況があります。保健師の障がい者や高齢者への訪問活動の実際はどうか。保

A 確認「お元気コール」や一人暮らし交流会を実施。地域のお茶のみサロンを11地区で実施。今後は地域の支えあいによる居場所づくりへの支援が必要と考えます。そうした事業に出かけるのも大変という状況があります。保健師の障がい者や高齢者への訪問活動の実際はどうか。保



雁田地区の畑に張られている電柵

Q 雁田山麓全体では更に深刻と思われま。水上は電柵が未設置で、

Q サル追いに地元が効果を認めているモンキードッグはどうなりましたか。松川からの出沒もでている。松川対策は。個人の善意で行っていた。探したい。松川からの出沒対策は県などと相談します。

A 急に親の仕事などで子どもの居場所となると必要です。民間の協力を得て居場所づくりをすすめていきたい。全自治会で整備された支え合いマップを、日常的に実践できるよう推進されたい。

A 松村の「支えあいまちづくり」勉強会を広めて、全域に支えあいの仕組みづくりを進めます。

サル被害が深刻 町の本格的対策を求めます 竹内課長 地元や県と相談して対策を進めます

A 町としての対策が必要です。JAの販売物鳥獣被害調査では平成29年度210万円内、サル10万円。実績はこれ以上。電柵設置地元負担もあるので、よく相談していきます。

Q 認めているモンキードッグはどうなりましたか。松川からの出沒もでている。松川対策は。個人の善意で行っていた。探したい。松川からの出沒対策は県などと相談します。

議会 日誌

児童発達支援センター
ー長野市にじいろキッズらいふ視察
四月三日

社会文教常任委員会を中心に調査研究を目的として長野市の児童発達支援センター「にじいろキッズらいふ」へ視察のため訪問しました。現在、小布施町では障がい児のための施設は充実しておらず、近隣の自治体に頼って

町防災訓練実施
六月三日
早朝4時50分より町内27自治会一斉に防災訓練を開始しました。各公会堂を第一避難場所にして救助活動と消火訓練作業・消火栓操作等終了後、第二避難所にて消防団員の放水訓練・消防署職員によ

るAED救命方法の説明や実演また活動状況報告の他、町職員によるダンボール紙を使った避難場所確保や簡易トイレの説明を受ける。各自治会ごと、車座にて高齢者他の再確認作業後、女性防災クラブ員協力の「炊き出し飯」をいただき解散となりました。

町村議会改革
シンポジウム第4回
五月七日
松本キッセイホール

軽井沢町議会の呼びかけにて開催・研究課題I、議員なり手不足について、II、人口減少時代の地方をどう創っていくか

「政策提言に向けて」研究課題I、「議員なり手不足について」

最初に飯綱町の寺島渉氏が「なり手不足問題」はなぜ起きているのかと題して発表し、何をなすべきかについては、町の現状を広く深く分析し問題を解明する他、4項目の提案発表をしました。

次に、下岡（喬木村）議長が「夜間・休日議会の取り組みと検証」について、①議員なり手不足解消（兼業議員のために）②イベント的でなく通

年の取り組み
③町村議会のあり方に
関する研究会
を課題としこの取り組みのきつかけについてや、運営と総括についての発表をした。

研究課題II、「人口減少時代の地方をどう創っていくか、政策提言に向けて」

清水（飯綱町）議長が飯綱議会改革10年の実践とこれからの、新しい地方議会づくりについて①首長の追認機関から脱皮して監視・批判機能をきちんと発揮できる議会、②政策に強い議会、③住民参加型議会を柱に具体化し町民から議会サポート制度や議会モニター制度を実施中の発表がありました。後、意見交換と講師、江藤教授（山梨学院大学）・千葉編集長（月刊ガバナンス）より発表事例へのコメントがありました。

小布施町消防団による日頃の訓練の成果を競う大会が、6月10日に栗ガ丘小グラウンドで本部長（町長）団長他各関係者、自治会連合会や町民の皆さんの見守るなかで開催され

消防技術大会
平成30年度



人口減少時代の地方をどう創っていくか！～政策提言に向けて～

ラッパ隊の先導、第一分団、第二分団、第三分団、総勢133団員が参加、消防車9台によるポンプ操法と放水実技がまた、ラッパ隊の実演、それぞれ審査員の厳しいチェックのなかで真剣に取り組む、競い合っていました。